

II 主な事業別の状況

1. 上水道事業

(1) 施設及び業務の状況

決算調査の対象となったのは、29事業(前年度30団体)である。年間総配水量は対前年度比1.9%減の146,087千 m^3 であり、また給水人口は対前年度比0.9%減の133万9千人となっている。これを行政区域内人口に対する普及率で見ると94.1%、また、計画給水人口に対する普及率で見ると、86.7%になっている。

有収率は、前年度87.3%に対し87.4%と0.1ポイント増加している。規模別にみると給水人口15万人以上の団体(3団体)が88.9%で最も高い有収率となっている。(第9表)

第9表 施設及び業務概要

(単位：人、%)

項 目	規 模 別					合 計
	15万人以上	5万人以上 15万人未満	3万人以上 5万人未満	1.5万人以上 3万人未満	1.5万人未満	
行政区域内人口 (A)	854,415	196,706	125,776	102,397	143,749	1,423,043
計画給水人口 (B)	929,720	215,253	129,330	107,918	161,682	1,543,903
現在給水人口 (C)	829,117	181,897	114,611	94,276	118,791	1,338,692
(C) / (A)	97.0	92.5	91.1	92.1	82.6	94.1
(C) / (B)	89.2	84.5	88.6	87.4	73.5	86.7
有 収 率	88.9	87.6	85.3	85.2	80.0	87.4

(注) 用水供給事業を除く。

(2) 収益的収支の状況

総収益対総費用比率は105.5%で、前年度に比べ2.0ポイント減となっており、収益費用別では総収益が1.6%減、総費用が0.3%増となっている。

単年度収支では、純損失を生じた事業が前年度より1減で7事業となり、金額的にも1億203万8千円(前年度1億658万5千円)と赤字が減少している。

累積欠損金は7億9,011万円で、前年度(10億9,193万6千円)に比べ3億182万6千円(27.6%)の減となっている。(第10表)

第10表 決算状況の推移

(単位：千円、%)

年 度		年 度					増減率 (18/17)
		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	
総 収 益		34,649,019	33,608,001	33,536,741	33,574,519	33,051,642	△ 1.6
うち営業収益 (A)		32,075,752	31,548,789	31,737,490	31,642,752	30,963,039	△ 2.1
総 費 用		31,819,781	31,068,833	31,205,399	31,237,773	31,324,619	0.3
純 利 益		2,971,603	2,712,751	2,550,456	2,443,331	1,829,061	△ 25.1
純 損 失 (B)		142,365	173,583	219,114	106,585	102,038	△ 4.3
累 積 欠 損 金 (C)		1,320,964	1,447,315	1,267,775	1,091,936	790,110	△ 27.6
不 良 債 務 額 (D)							
赤字額 等の営業 収益に 対する 割合	(B) / (A)	0.4	0.6	0.7	0.3	0.3	
	(C) / (A)	4.1	4.6	4.0	3.5	2.6	
	(D) / (A)						
事 業 数 (E)		39	39	33	30	29	
純損失を生じた 事業数 (F)		12	11	11	8	7	
累積欠損金を 有する事業数 (G)		11	13	17	12	11	
不 良 債 務 を 有する事業数 (H)							
赤字等 の事業 数の 割 合	(F) / (E)	30.8	28.2	33.3	26.7	24.1	
	(G) / (E)	28.2	33.3	51.5	40.0	37.9	
	(H) / (E)						
総収益対総費用比率		108.9	108.2	107.5	107.5	105.5	

(注) うち営業収益(A)は受託工事収益を除く。また、17年度の累積欠損金については、市町村合併に伴う地方公営企業の会計処理による減分が考慮されている。

(3) 資本的収支の状況

資本的収入は、96億3,134万6千円（前年度95億6,881万1千円）で前年度より0.7%増加し、資本的支出は222億1,041万1千円（前年度218億3,746万9千円）で1.7%の増となっている。

資本的収入の財源のうち企業債が47億8,520万円（前年度52億5,220万円）で、前年度に対し8.9%減少し、内部資金等の補てん財源は対前年度比1.2%減の120億6,646万2千円（前年度122億1,319万6千円）となっている。（第11表）

第11表 資本的収支の状況

（単位：千円、%）

項目	区分 年度	金額		増減率 (18 / 17)	
		18年度	17年度		
資本的支出	建設改良費	12,007,294	12,151,497	△ 1.2	
	企業債償還金	9,926,212	9,585,384	3.6	
	その他	276,905	100,588	175.3	
	計	22,210,411	21,837,469	1.7	
財源内訳	内部資金	12,066,462	12,213,196	△ 1.2	
	外部資金	9,631,346	9,568,811	0.7	
	うち	企業債	4,785,200	5,252,200	△ 8.9
		他会計出資金	1,028,492	1,190,627	△ 13.6
		他会計負担金	61,502	115,455	△ 46.7
		他会計借入金			
		他会計補助金	115,060	59,513	93.3
		調整項目			
	財源不足額	512,603	55,462	824.2	
	計	22,210,411	21,837,469	1.7	

(4) 資金繰りの状況

流動比率（流動資産／流動負債）は927.2%と前年度（812.4%）より114.8ポイント高くなっている。

（第12表）

第12表 資金繰りの状況

（単位：千円、%）

年度	項目	流動比率	一時借入金の状況	
			一時借入金	営業収益に対する割合
14		571.6	16,216	0.1
15		565.9		
16		791.5		
17		812.4	6,963	0.0
18		927.2		

2. 交通事業

(1) 施設及び業務概要

交通事業は、青森市及び八戸市においてバス事業が行われている。これに従事する職員は両市合わせて406人で前年度（388人）より18人増加している。一般乗合分の在籍車両は316両で、前年度（319両）に比べ3両減となっている。輸送人員は年間18,201千人、一日当たり4万9,866人で、前年度に比べ一日1,268人減少している。

（第13表）

第13表 年度別経営規模

区 分		年 度				
		14	15	16	17	18
施 設	営業路線（km）	522.9	531.2	482.9	497.1	491.3
	運転系統路線（本）	331	321	312	303	306
	在籍車両（両）	344	330	324	319	316
	平均車齢（年）	10.9	11.5	12.2	13.0	13.5
業 務	年間走行キロ（千km）	10,333	9,568	9,150	9,320	8,964
	一日走行キロ（千km）	28	26	25	26	25
	年間輸送人員（千人）	21,026	19,994	19,143	18,664	18,201
	一日輸送人員（人）	57,605	54,628	52,447	51,134	49,866
	年間輸送収益（千円）	4,797,859	4,306,752	4,068,231	4,014,753	3,667,781
	一日輸送収益（千円）	13,145	11,767	11,115	10,999	10,049

（注）一般乗合分のみを記載した。

(2) 収益的収支の状況

総収益対総費用比率は、93.7%で前年度（100.2%）に比べ6.5ポイント低くなっている。

不良債務額については20億5,073万6千円生じており、前年度(20億6,328万7千円)に比べ1,255万1千円（0.6%）の減となっている。（第14表）

第14表 経営状況の推移

(単位：千円、%)

年 度		年 度					増 減 率 (18/17)
		14 年 度	15 年 度	16 年 度	17 年 度	18 年 度	
総 収 益		6,619,664	6,006,054	5,561,874	5,408,043	4,767,245	△ 11.8
うち 営 業 収 益 (A)		5,210,542	4,618,719	4,308,532	4,242,984	3,875,887	△ 8.7
総 費 用		6,645,986	5,915,206	5,543,591	5,395,193	5,088,492	△ 5.7
純 利 益		16,858	116,938	82,165	12,850	28,629	122.8
純 損 失 (B)		43,180	26,090	63,882		349,876	皆増
累 積 欠 損 金 (C)		1,847,851	1,757,003	1,738,720	1,060,062	1,371,670	29.4
不 良 債 務 額 (D)		2,715,412	2,491,295	2,387,527	2,063,287	2,050,736	△ 0.6
赤字額 等の営業 収益に 対する 割合	(B) / (A)	0.8	0.6	1.5		9.0	
	(C) / (A)	35.5	38.0	40.4	25.0	35.4	
	(D) / (A)	52.1	53.9	55.4	48.6	52.9	
事 業 数 (E)		2	2	2	2	2	
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 (F)		1	1	1		1	
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 (G)		2	2	2	1	2	
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 (H)		2	2	2	2	2	
赤字等 の事業 数の 割 合	(F) / (E)	50.0	50.0	50.0		50.0	
	(G) / (E)	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0	
	(H) / (E)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
総 収 益 対 総 費 用 比 率		99.6	101.5	100.3	100.2	93.7	

(3) 資本的収支の状況

資本的収入は7億1,895万7千円で前年度（1億8,125万5千円）より5億3,770万2千円（296.7%）増加し、資本的支出についても11億4,185万1千円と前年度（7億6,584万8千円）より3億7,600万3千円（49.1%）増加している。

（第15表）

第15表 資本的収支の状況

（単位：千円、%）

項目	区分 年度	金額		増減率 (18 / 17)	
		18	17		
資本的支出	建設改良費	123,769	135,462	△ 8.6	
	企業債償還金	117,089	110,802	5.7	
	その他	900,993	519,584	73.4	
	計	1,141,851	765,848	49.1	
財源内訳	内部資金	5,894	6,598	△ 10.7	
	外部資金	718,957	181,255	296.7	
	うち	建設改良のための企業債	121,400	130,002	△ 6.6
		他会計補助金	45,368		皆増
		他会計借入金	550,000	46,000	1,095.7
	財源不足額	417,000	577,995	△ 27.9	
	計	1,141,851	765,848	49.1	

(4) 資金繰りの状況

一時借入金は16億2,573万4千円で、前年度（17億9,669万円）より1億7,095万6千円（9.5%）減少した。また、流動比率（流動資産／流動負債）は4.2%で、前年度（4.8%）より0.6ポイント低くなっている。（第16表）

第16表 資金繰りの状況

（単位：千円、%）

年度	項目	流動比率	一時借入金の状況	
			一時借入金	営業収益に対する割合
14		5.4	2,123,824	40.8
15		4.2	2,119,250	45.9
16		4.0	1,848,571	42.9
17		4.8	1,796,690	42.3
18		4.2	1,625,734	41.9

3. 病 院 事 業

(1) 施設及び業務概要

平成18年度の病院数は30病院であり、その経営主体別の内訳は市が経営する病院が10病院、町が経営する病院が13病院、一部事務組合が経営する病院が7病院となっている。(第17表)

30病院全体での病床数は、5,713床(一般病床4,780床、療養病床436床、結核病床0床、精神病床483床、感染症病床14床)で、病床利用率は73.5%で前年度を2.7ポイント下回った。

規格別に比較すると、500床以上の病院が80%を超えているが、300床以上500床未満の病院及び200床未満の病院では70%以下であった。

延べ患者数については、年間入院延べ患者数154万4千人、外来延べ患者数316万8千人、合計で471万2千人となっている。(第18・19表)

第17表 施設及び概要

病院規模	区 分 自治体病院数	経 営 主 体		
		市	町	一 部 事 務 組 合
500 床 以 上	2	2		
300 床 以 上 500 床 未 満	3	2		1
200 床 以 上 300 床 未 満	4	3		1
100 床 以 上 200 床 未 満	12	3	6	3
100 床 未 満	9		7	2
計	30	10	13	7

第18表 患者数・病院数の推移

年 度	14	15	16	17	18
入院延患者数(千人)	1,737	1,694	1,681	1,618	1,544
外来延患者数(千人)	4,047	3,764	3,583	3,360	3,168
病 床 数(床)	5,925	5,893	5,893	5,742	5,713
病 床 利 用 率(%)	79.8	77.8	77.6	76.2	73.5
外来・入院比率(%)	232.9	222.2	213.1	207.7	205.2

第19表 病床の利用率

規 模						計
年 度	500 床 以 上	300 床 以 上 500 床 未 満	200 床 以 上 300 床 未 満	100 床 以 上 200 床 未 満	100 床 未 満	
14	89.0	77.2	83.2	77.0	68.6	79.8
15	86.8	76.7	88.8	72.7	59.9	77.8
16	86.8	75.3	86.7	73.6	62.1	77.6
17	88.4	72.1	84.3	70.3	66.0	76.2
18	86.9	69.9	78.5	66.9	66.3	73.5

(2) 収益的収支の状況

単年度収支では30施設中8施設で7億2,523万4千円の純利益を生じたが、22施設が合わせて57億6,050万6千円の純損失を生じ、累積欠損金は前年度559億3,267万6千円から20億6,113万6千円(3.7%)増加して、579億9,381万2千円となっている。

不良債務額は前年度136億2,052万1千円から20億3,689万4千円(15.0%)増加し、156億5,741万5千円となっている。(第20表)

第20表 経営状況の推移

(単位：千円、%)

項目		年 度					増減率 (18/17)
		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	
総 収 益		91,558,149	89,465,952	89,159,294	88,180,573	87,057,382	△ 1.3
う ち 営 業 収 益 (A)		83,492,767	81,936,511	81,424,834	80,153,195	78,832,991	△ 1.6
総 費 用		95,833,105	92,795,666	92,208,514	92,531,053	92,092,654	△ 0.5
純 利 益		384,264	692,593	707,282	604,151	725,234	20.0
純 損 失 (B)		4,659,220	4,022,307	3,756,502	4,954,631	5,760,506	16.3
累 積 欠 損 金 (C)		61,062,387	64,361,738	58,476,300	55,932,676	57,993,812	3.7
不 良 債 務 額 (D)		11,154,602	11,669,504	12,254,328	13,620,521	15,657,415	15.0
赤字額 等の営業 収益に 対する 割合	(B) / (A)	5.6	4.9	4.6	6.2	7.3	
	(C) / (A)	73.1	78.6	71.8	69.8	73.6	
	(D) / (A)	13.4	14.2	15.0	17.0	19.9	
施 設 数 (E)		31	31	31	30	30	
純 損 失 を 生 じ た 施 設 数 (F)		25	24	20	23	22	
累 積 欠 損 金 を 有 する 施 設 数 (G)		31	31	28	23	25	
不 良 債 務 を 有 する 施 設 数 (H)		17	16	17	18	19	
赤字等 の施設 の割 合	(F) / (E)	80.6	77.4	64.5	76.7	73.3	
	(G) / (E)	100.0	100.0	90.3	76.7	83.3	
	(H) / (E)	54.8	51.6	54.8	60.0	63.3	
総 収 益 対 総 費 用 比 率		95.5	96.4	96.7	95.3	94.5	

(注) 16年度及び17年度の累積欠損金については、市町村合併に伴う地方公営企業の会計処理による減分が考慮されている。

(3) 資本的収支の状況

資本的収入は80億4,257万5千円(前年度57億6,317万6千円)で、対前年度比39.6%の増、資本的支出も109億5,100万3千円(前年度88億4,146万4千円)で、対前年度比23.9%の増である。

財源内訳は、内部資金等補てん財源が前年度より21.1%減少し、外部資金は企業債が177.7%の増加、他会計出資金等の一般会計繰入金が22.9%減少している。(第21表)

第21表 資本的収支の状況

(単位：千円、%)

項目	区分 年度	金額		増減率 (18 / 17)	
		18	17		
資本的支出	建設改良費	5,668,842	2,669,418	112.4	
	企業債償還金	5,282,146	5,768,546	△ 8.4	
	その他	15	403,500	△ 100.0	
	計	10,951,003	8,841,464	23.9	
財源内訳	内部資金	2,078,739	2,636,125	△ 21.1	
	外部資金	8,042,575	5,763,176	39.6	
	うち	企業債	5,195,500	1,871,100	177.7
		他会計出資金	1,738,291	1,893,123	△ 8.2
		他会計負担金	901,995	1,498,664	△ 39.8
		他会計借入金			
		他会計補助金	1,522	33,228	△ 95.4
	調整項目				
	財源不足額	829,689	442,163	87.6	
	計	10,951,003	8,841,464	23.9	

(4) 資金繰りの状況

流動比率(流動資産/流動負債)は68.0%と前年度(75.8%)を7.8ポイント下回って、資金繰りは前年度に比べて悪化している。(第22表)

第22表 資金繰りの状況

(単位：千円、%)

年度	項目	流動比率	一時借入金の状況	
			一時借入金	営業収益に対する割合
14		83.3	21,127,363	25.3
15		82.0	22,343,304	27.3
16		80.3	23,246,064	28.5
17		75.8	24,845,055	31.0
18		68.0	26,992,419	34.2